煤ヶ谷駐在所

厚木警察署
煤ヶ谷駐在所
編集＊渡部
TEL 046-223-0110

自転車マナーアップ対策の推進

◎ 目的
自転車利用者の交通ルール遵守と、マナー向上の気運を醸成し、自転車交通事故防止の更なる徹底を図るため、交通指導取締り、交通安全教育、キャンペーン等の自転車マナーアップ対策を強化します。

◎ 期間
令和２年５月１日（金）から５月３１日（日）の１か月間

◎ スローガン
自転車も　のれば車の　なかまいり

◎ 重点
○ 自転車交通ルールの遵守とマナーの向上
○ 自転車点検整備と損害賠償責任保険等加入の促進

県民の皆さんは、特に次のことに心掛け交通事故を防止しましょう。

○ 家庭では
家族が自転車で出かける際には、交通事故に遭わないよう交通安全の「ひとこえ」を掛けましょう。
自転車も乗れば車両であり、交通ルールを守らなければならないこと、事故を起こしたときの責任等について、家族で話し合いましょう。
子供が自転車を運転するときや子供を自転車に乗せるときは、必ずヘルメットを着用させるとともに、大人も積極的にヘルメットを着用しましょう。
幼児を同乗させるとき、前面に抱っこすることはハンドル操作の妨げになるので　やめましょう。また、幼児用座席に幼児を乗せるときは、シートベルトを着用させましょう。

※「神奈川県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」で加入が義務付けられている自転車損害賠償責任保険等に確実に加入しましょう。

特殊詐欺の被害防止

～デパート、警察、役所を語る電話に要注意！～

◎
○ 県内で急増しているキャッシュカードを直接だまし取る手口
警察官・デパート店員を装う犯人が電話があり、最近急増しているのが、役所等をかたり、キャッシュカードをだまし取る手口になります。

○ 架空料金請求詐欺
サイト管理会社等をかたり、「有料サイト登録解除料金」や「有料サイト閲覧未納料金」等を名目に支払いを求め、コンビニエンスストア等で電子要マネーを購入させ、裏面の番号を聞き出し、電子マネーをだまし取る手口です。

○ 還付金詐欺
発生しています。
還付金詐欺は、役所の職員をかたり「医療費・保険料の還付金があります。」、「今日が手続の期限です。」「急いで近くのATMに行ってください。」などと言って、最寄りの無人ATMに誘導し、携帯電話で連絡をさせ、還付手続を装って、犯人の口座にお金を振り込ませるものです。

※ 高齢者＋携帯電話を使用＋ATM操作＝サギ！！
て、役所等が医療費等の還付手続としてATMを操作させることは絶対にありません。

事件記録板

３月中旬から４月中旬までの事件は、
侵入盗などの事件の発生はありませんでした。

○ 県内で特殊詐欺が多発していますが、清川村では発生がありません。村民が危機意識を持っているか、広報が浸透しているのか、または、両方かと思います。今後も不審な電話があれば、確か広報していたなと、思い出して頂けたら防げるはずです。どうか騙されないよう、宜しくお願い致します。

駐在所の独り言　～コロナ問題を考える！我儘感情、身勝手な行動はダメ！！～

コロナ問題で、生活に影響を与え、日々の生活に悩んでいる事かと思いますが、どうか、ひとり、ひとりの行動に間違いがあれば、家族や親せきや友人、近所の方々等、とんでもない多くの人に悲しい思いをさせる事になる事を再度認識し、気を引き締めて行動していきましょう。そんな今、ネットで何にも根拠のない、寧ろ事実でないフェイクや混乱させる意図をもって、悪質とも思える情報が流されたり、悩まされていたところでした。当然、テレビ、新聞などマスメディアも同様です。視聴率を取るためか、悲しいしい気持ちに寄り添うような優しい言葉遣いで、結果不安や混乱させるといった事があります。どうか騙されないで欲しいと願っているところで、神奈川県医師会から、ついに我慢の限界を超えたのでしょうか、医療崩壊を恐れ、医療現場の状況やこうした誤った情報に注意を呼び掛ける「神奈川県民の皆様へ、神奈川県医師会からのお願い」というメッセージが出されました。このメッセージに多くの絶賛の声が上がっています。こうした専門職からの情報がなければ、何の資格もない我々にとってく想像の域を越えられない、実に無責任な情報が流されても、専門的知識や資格のない者では、否定が出来ないからです。つまり流されっぱなしで止める事が出来ないのです。この「神奈川県医師会からのお願い」が今の現状を知らせててくれていますが、全文、載せる事が出来ないので、要点だけお知らせします。「若い人は軽症で済むといった報道は間違いで、重症化して死亡することもある。また軽症だと喜んで、歩き周れば蔓延させる。このウイルスは未知で、本当の専門家はなく誰も分からない。医療現場は、混乱の中、テレビなど出る暇はありません。長時間テレビ出演している医療関係者は、一緒に奮闘すべきだろう。PCR、胸部レントゲン、CT を積極的にしないのは、怠慢だと言うが、現状を知って言ってるのか。スピードを上げれば重症化も増える。感染者の増加を少しでも緩やかカーブにしないと医療崩壊する。偏見や差別をなくす。生きているだけで幸せだと是非思ってください。密集、密閉、密接は、もう少し我慢してください。みんなで一緒に戦いましょう。」です。どうか皆さんも医療現場の現状を知り、どうか自分が出来る事を理解し蔓延させないためには、正しいメッセージを実践しましょう。身勝手な言動行動も医療崩壊に繋がります。